

甲南大学法科大学院入学試験問題について

2018年度春入学

一般入学試験（B日程・12月2日分）

試験科目：刑法

1. 出題趣旨

賃乗車の事案を素材に、2項詐欺罪や強盗利得罪、窃盗罪等の財産犯に関する基本的な理解を問うものである。詐欺罪に関しては、客体たる「財産上…の利益」や処分行為の性格に留意しながら、欺く行為の有無や犯罪の成否を矛盾なく検討ことが求められるほか、強盗利得罪や窃盗罪等についても、具体的な事実関係を分析してそれに法規範を適用する能力及び論理的思考力・論述力を試すものとなっている。

2. 採点実感

問題文に表れた事実がどのような犯罪の成否に関係があると考えているかについての一応の記述はみられるものの、いかなる事実がどのような法的问题点を提起するのかに関する記述が不十分であるものや、適用条文の各文言の解釈や、相互関係に関する理解が正確とはいえない答案が、散見された。

3. 学習方法

条文を確認しながら教科書を読みこむことが基本である。判例は、判示部分だけでなく、事案とセットで理解する必要がある。さらに、法的論争点については、抽象的に説明するのではなく、典型例・具体例を挙げながら説明できるよう心掛けられたい。